

平成28年度 しらかば幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

- (1) 明るいあいさつができる子 (2) 元気に遊ぶ子 (3) 思いやりのある子

2. 本年度の重点目標

力を入れている活動

- (1) 言葉に親しむ活動・・・読み聞かせ、お話の日、聞く姿勢づくり  
 (2) 体を動かしてあそぶ活動・・・園庭で運動遊び、集団遊び、自由遊び等、マラソンや体操  
 (3) 自然に親しむ活動・・・植物や昆虫の観察、豊かな自然の中での活動

3. 自己評価

A・・・十分達成されている

B・・・達成されている

C・・・取り組んでいるが、成果が十分でない

D・・・取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- (1) 毎回送ってくるたびに園庭の遠くからでも元気よく挨拶してくれて、雰囲気が変わったように思う。以前より元気がなくなったという点については改善されていると感じた。  
 (2) 入園を決めたのは近所の人情報であった。家からも近いし、すぐに名前を覚えてくれたから。子どもも楽しそうにしていた。選んでもらえる幼稚園としての努力が感じられ、地域の行事などに先生方が参加いただいて有難い。  
 (3) 信学会の幼稚園でしつけていただいたことが小学校に入学したときに生きていて、小学校でもしっかりできるので有難いと思った。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 教育目標・重点目標のベースとして「感性を高める幼児教育」を掲げた。感性を高めるために  
 ①子どもたちの感性に気付く目を持つために、週案・個人票に子どもの輝く姿を記入する。  
 ②読み聞かせの工夫 本の選択、読み方、読後感想、教材研究など感性を磨く方法を研究。  
 ③園便り・ホームページなど、子どもの感性を視点にして発信する。  
 などの取り組みをした。今後一層子どもたちの感性を伸ばす体験活動や言語活動に力を入れたい。  
 (2) 保護者や地域のニーズを把握するとともに、日々の保育活動や行事等のねらいを明確にし、諸活動が充実し、子どもが成長することを図りたい。